

普及活動情勢報告（令和6年3月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

法人の事業戦略を立てよう！

～（農）大正中津川での事業戦略策定検討会～



アドバイスを受けながらの意見交換の様子

3月5日に大正中津川集落において、農家、関係機関合わせて10名が参加して、（農）大正中津川の実業戦略策定検討会が行われました。

検討会ではアドバイザーの支援を受けて、法人事業の取組内容、実施時期、雇用、施設・機械整備計画、販売目標などについて、法人役員と意見交換しながら戦略マップの作成を行いました。普及所からは、当面の課題や他地域の事例を紹介しました。

農家からは「山間部では農業だけの経営は難しい」「複合経営拠点との連携が必要」など、活発な意見交換が行われました。

普及所では、戦略マップの実現に向けて、継続して法人の取組を支援していきます。

果樹を適正に管理して鳥獣被害を防止しよう！ ～果樹適正管理講習会～



普及指導員による剪定の実演

2月26日、認定NPO法人四国自然史科学研究センターからの依頼により、鳥獣被害対策として果樹の適正管理について剪定方法を中心に、四万十町及び中土佐町で講習会を開催し、県内の鳥獣被害対策専門員10名、生産者10名が参加しました。

講習では、ポンカン、文旦、柿等の樹種の違いによる栽培方法、剪定の説明や、あえて実をならさない剪定などを実演しました。参加者からは「今まで自己流だったが参考になった」「樹形をやり直すに数年かかりそう」「肥料はどのあたりに散布したらいいのか」などの意見等がありました。

普及所は、今後も鳥獣被害対策を支援していきます。

集落活動センター「いしはらの里」に行ってきました ～女性活躍推進事業先進地視察研修～



取組を学ぶ参加者

3月12日、土佐町石原地区の「集落活動センターいしはらの里」への視察研修を行い、女性農業者や地域おこし協力隊員など10名が参加しました。

今回の研修は、女性リーダーなどの意見を踏まえて普及所が企画したもので、いしはらの里では、「支え合い」「交流」「商い」の活動を中心に、これまでの活動経過や苦労話などの説明がありました。

参加者からは「話し合いへの参加者が増えていった理由は何か」「年代別の意見交換会をどうやって行ったのか」など、多くの質問がありました。何より、「地域に人が残るように」を目標に、地域ぐるみの活動を協力して実践している姿が、参加者の心に響いていました。

普及所では、いしはらの里の取り組みを参考にして、若者や女性農業者の交流や活動を支援していきます。